

## — 統計事務改善研究会寸描 —

3月18日、鹿島郡旭村で開催された「昭和55年度統計事務改善研究会」から、出席された調査員の何名かの意見・要望をピックアップしてみました。

◆ それぞれの統計調査によって調査内容が違うということは納得できるのですが、結局調査員が歩く手間とか時間です、多少調査項目が少ないからといって1回行くところ半分で済むという訳にはいかないですね。いくら1日3,900円と決まっていますが、1週間かかって一生懸命やっているものを2日ですよと言われたのでは問題にならない訳です。その辺をもう少し考慮に入れてこれからお願いできればいいんじゃないかと考えております。

◆ まだ調査員協議会を結成していない市町村が県内に23ある。結成が69。(中略)やはり結成しておけば、調査員相互の親睦や情報交換などの効果があるんじゃないかと思えます。それと合わせまして、調査員の体験発表や所信表明の最後には必ず待遇を改善するというのがありますが、いっこうに改善された余地がないということなんです。ですからやはり、各市町村に調査員協議会を結成して、小さいなり1本にまとめて、県に当たるなり中央に当たるなりすれば、待遇改善に非常にプラスするんじゃないかと、そういう考えでもって申しあげた訳でございます。

◆ 情報化時代と言われる御時勢ですので統計の資料は非常に大切なことと思いますが、国調が、センサスがというように、統計がある時点だけで忘れられるような感じをちょっと第一線の調査員は持っています。ですから、統計の重要性を認識し、県民の理解を得るために統計の日が制定されているのですから、そうした日を期して、第一線の調査員が一堂に会して研修ができるような、例えばこの事務改善研究会のようなことも、一部でなく全部の調査員に説明し

て理解を得られるような活動を県の方でやっていただけたらと思います。統計大会でも、参加した一部の調査員は統計の大切さを味わえるのですが、一般の調査員もそうしたことに参加できるような啓蒙運動をお願いしたいと思います。

◆ 私の部落は対象農家はちょうど50戸ですが、配布から回収いろいろやって約4日かかっています。この4日を時間的に分類してみました。調査票の配布が11時間、回収が10時間。それから不在のために2回訪問した家が8戸あります。3回行った家が3戸、これらが約3時間。それから回収に行ってもまだ書いてないから書いてくれと言われて書いたのが4戸、書くのがめんどうだから書いてくれないかと1回目に頼まれたのがやはり4戸、書き直しが2戸あります。これはボールペンで書いてあったので鉛筆に直しました。これらが約3時間。それから調査員はどなたも同じだと思うんですけど、調査票の点検をしましてこれが約5時間。合計で32時間となっております。ただしこの時間には書き方の説明会や調査票提出のための時間、それから私は記入上の注意事項をプリントして各農家に配っております。これらの時間は含まれておりません。

◆ (昨年度、全統連主催の全国統計調査員問題研究会に参加して)地域によっていろんな違いがあるのを知られ非常に勉強になった訳ですが、まず第一番に私の町では統計調査員は男ばかりなので、全国的に調査員の占める男女の比率は非常に女の方が多くて、男はほんの一部しかいないということを初めて知られ非常に参考になった訳です。それと、地方では長くやっている信頼度のある調査員が行った方が正確な数字があがってくる。ところが都市、例えば団地などへ行くと顔を知らない調査員の方がいいという逆のケースが生れている。町場の人と農村の人の考え方はちがうんだなあと感じとった訳です。



熱心に討議する調査員



## — 国勢調査内閣総理大臣表彰伝達式報告 —

昨年10月1日に実施された昭和55年国勢調査で多大の尽力のあった国勢調査調査員44人及び同指導員10人併せて54人に対し内閣総理大臣表彰の受賞が決まり、去る4月9日(木)午前11時から、水戸市千波の県民文化センター大会議室で表彰伝達式が行われ、三井県企画部長から表彰状と記念品が授与されました。

これらの受賞者は、県内の国勢調査調査員13,138人及び同指導員973人、併せて14,111人の中から、市町村長の推薦を受けて県から総理府に申請していたものです。

受賞者は次のとおり(敬称略)。

### ▷国勢調査調査員

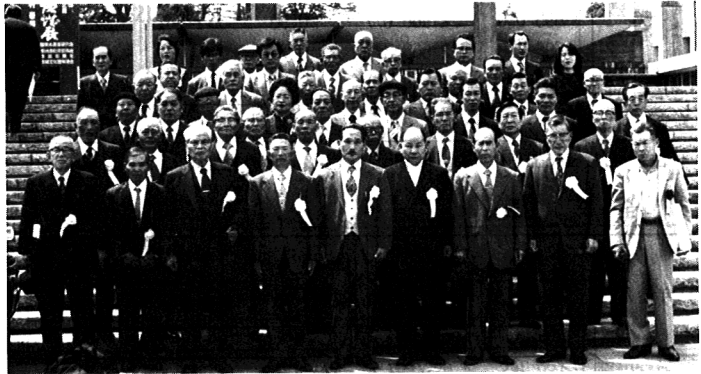
横倉秀四郎、小塚角藏、小沼義雄(水戸市)、渡部忠子、沼田利雄(日立市)、古森軍治、山田善次(土浦市)、北島博(古河市)、長谷川達(石岡市)、大島民次(下館市)、磯弥之助(結城市)、石山茂重(竜ヶ崎市)、大内茂(那珂湊市)、司代松寿(下妻市)、倉持治平(水海道市)、野内幹雄(常陸太田市)、平野為義、鈴木常夫(勝田市)、井口節子(高萩市)、丹誠治(北茨城市)、田口武雄(笠間市)、廣瀬正作(取手市)、風見与一郎(岩井市)、中島薫(小川町)、三村栄次(桂村)、成田穰(岩間町)、先崎茂平(瓜連町)、笠井敏雄(緒川村)、

飯島利男(大洋村)、沼田正人(神栖町)、宮岡富士雄(潮来町)、真家正(北浦村)、宇都木治(美浦村)、柳田義男(荳崎村)、茨城いち子(河内村)、水飼明定(東村)、長谷川要(八郷町)、石川貞雄(谷和原村)、倉持清(大穂町)、大畑那尾(関城町)、河添兵次(明野町)、中嶋晃(石下町)、内田貞一(五霞村)、田中善太郎(守谷町)

### ▷統計調査指導員

兼子一久(水戸市)、庄司靖(日立市)、谷田部豊之助(土浦市)、宮内八郎(下館市)、鈴木健一(高萩市)、海老原一雄(取手市)、豊田紀雄(里美村)、大竹一郎(阿見町)、酒井清(桜村)、峯正一(総和町)

文化センター入口での記念撮影



## — 昭和56年春の叙勲・褒章受賞者発令 —

昭和56年春の叙勲・褒章受賞者が天皇誕生日の4月29日(木)発令され、県内統計関係者では統計調査員5名の受賞が決定しました。それぞれの伝達式及び拝謁は、叙勲が5月15日、褒章のうち通産省関係が5月18日、総理府関係が5月20日にとりおこなわれます。

(叙勲)	勲六等端宝章	石岡市	秋山利一郎
(褒章)	藍綬褒章	古河市	後藤金一(通産省)
	藍綬褒章	牛久町	飯嶋英介(総理府)
	藍綬褒章	千代田村	君山弘(総理府)
	藍綬褒章	千代田村	豊崎久馬(総理府)

### 【市町村統計関係職員の異動(5/1付)】

▷古河市長公室企画財政課統計調査係長(兼) ⑩ 松山幸子(土木課管理係長) ⑪ 川辺幹郎(福祉一課課長補佐)  
▷下館市企画部長兼都市開発課長(兼) ⑫ 大島徳治(資産税課長) ⑬ 生井三郎(水道部長兼工務課長)  
▷大宮町総務民生部企画(兼) 企画開発課長(兼) ⑭ 奥村義三(学校給食センター所長) ⑮ 中村昭次(総務課長) / 同課長補佐 ⑯ 青山侃(同工業団地整備室長) ⑰ 生天目晟(総務課課長補

佐)  
▷鹿島町産業経済部商工観光課長(兼) ⑱ 鈴木運寿(福祉課長) ⑲ 君和田五郎(庶務課参事) 4/25付  
▷北浦村調査企画室長(兼) ⑳ 宮内保雄(議会事務局長) ㉑ 柴田正巳(出納事務局長)

なお、4月号本欄の谷田部町商工振興課統計係長東郷公子は東郷公夫の誤りでした。お詫びして訂正します。